



『medicina』2022年5月号 (Vol.59 No.6)

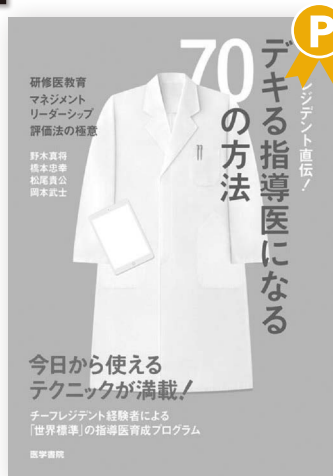
## ジェネラリストの羅針盤

医学部では教わらなかった 28 のクエスチョン

竹村洋典＝企画

定価 2,860 円／B5 判・199 頁／医学書院／2022

総合診療医が臨床で頻繁に遭遇する、しかも従来の医学教育でとり上げられてこなかった内容を厳選。第 1 章では、いわゆる内科の範疇を超越して、ジェネラリストが診ざるをえない、また診るべき他科の診療方法を掲載。専門医ではなくジェネラリストだからこそ行すべき、ジェネラリストでも行える内容・コツが満載だ。第 2 章では、日常診療でしばしば遭遇する悩ましい問題に対し、すべき対処法を網羅的に解説。第 3 章では、さまざまなジェネラリストのキャリアを解説。幅のあるジェネラリストへのすべての入口・キャリアパスが記載されている。きつと未来が開けて見える！



チーフレジデント直伝！

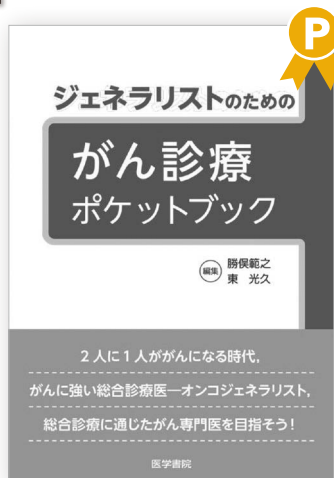
## デキる指導医になる 70 の方法

研修医教育・マネジメント・リーダーシップ・評価法の極意

野木真将、橋本忠幸、松尾貴公、岡本武士＝著

定価 3,960 円／A5 判・352 頁／医学書院／2022

指導医に必要な「リーダーシップ」「マネジメント」「教育スキル」「メンタリング」などを Q&A 方式で解説。臨床での指導テクニック、カンファレンス運営、プレゼン指導、カリキュラム作成、クラウドサービス、SNS などの IT 技術といった具体的なテクニックを幅広く紹介。パンデミック下での新しい研修スタイルの提案も収載。米国で学んだ著者らによる、経験と実績に裏打ちされた指導医育成プログラムで、あなたも“名指導医”になれる！



ジェネラリストのための

## がん診療ポケットブック

勝俣範之、東光久＝編

定価 4,180 円／A6 判・288 頁／医学書院／2022

2 人に 1 人ががんになる。今やがんは“国民病”である。世界的にも、がん診療は専門医だけでなく、ジェネラリストと連携しながら行っていく時代になってきた。本書は、がんに強い総合診療医・総合内科医、そして総合診療に通じたがん専門医・腫瘍内科医を目指す医療者に向けて編集した。がん専門医・治療医と総合医が手に手をとって、一緒になってがん患者を支えていくことができるような医療を実現するために。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.905) にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



## 緩和ケアレジデントマニュアル 第2版

森田達也、木澤義之＝監修

西 智弘、松本禎久、森 雅紀、山口 崇＝編

定価 3,960 円／B6 変判・536 頁／医学書院／2022

次々に起こる症状への対応、予後予測、ACP (advance care planning)、家族のケア、リハビリテーション……。最期まで患者の望む時間を提供するために、何をやるのか？ エビデンスをアップデートしつつ、経験も重視して、より実践的に改訂。病棟でも外来でも在宅でも、がんでも非がん疾患でも、すべての患者の苦痛緩和を目指す医療スタッフに必携の書！



## 救急整形外傷学

田島康介＝著

定価 13,200 円／B5 判・336 頁／医学書院／2022

救急科専門医と整形外科専門医のダブルボードをもつ著者による「救急整形外傷学」の成書。研修医・若手医師から絶大な支持を集めている『救急整形外傷レジデントマニュアル』の内容をより詳細に記載し、エビデンスも豊富に提示した。「初療を担当する救急医は整形外科の根治手術までも見据えて評価・治療を行っていくべき」との著者の考えに基づき、そのための最低限の治療方針や考え方・思考回路を解説した。



## 医学英語論文 手トリ足トリ

いまさら聞けない論文の書きかた

千葉一裕＝監修

堀内圭輔＝著

定価 3,850 円／A5 判・220 頁／医学書院／2022

ある日突然、論文を任された！ どこから手をつけたらよいのか、わからないことだらけ、論文は指導医の赤字だらけ……投稿したらリジェクトで……いったいどうしたらいいの!? 経験豊富な著者が、若手医師が論文執筆でつまずきやすい「いまさら聞けない」疑問を解説し、文献・データ収集から執筆・投稿、そしてめでたくアクセプト！とその先まで熱血指導。英語の例文は登場しない英語論文執筆の絶対的指南書。